

北海道室蘭市

## 高度技術の導入で社会資本の維持に貢献 資格取得の奨励で技術力を担保

北海道開発局、並びに北海道建設管理部を主体に、社会的インフラ整備に関する業務（企画、調査、設計、施工管理等）に携わっている。特に、現在問題になっている老朽化橋梁等の鋼構造物点検に強みを持ち、技術力の高度化と業務効率化を進め、持続可能な社会的インフラの維持に貢献している。近年、地質調査、GPS（地理情報システム）による情報管理システム分野へも進出している。

●所在地	北海道室蘭市中島町3丁目11-2	●設立	1984年
●電話/FAX	0143-43-8113/0143-45-3116	●資本金	1,000万円
●URL	<a href="http://www.mec-eng.co.jp/">http://www.mec-eng.co.jp/</a>	●従業員数	40人
●代表者	代表取締役社長 西潟 勝		



### 高度技術の積極的導入で壁面点検作業の高度化と効率化を実現

「より高度な技術力、知識、知見をもって『安全にして快適な社会づくり』に貢献すること」を経営理念に掲げ、高度な技術の導入に積極的に取り組んでいる。これまで、トンネルや橋梁等構造物の点検においては、点検員が目視で実施するため、足場や点検車を用いる必要があり、コストや作業期間の増大の原因となっていた。そこで同社は、高精度のカメラで橋梁等の構造物を撮影、ひび割れ等の点検を行うシステムを導入した。さらには、コンクリート内部の欠陥を離れた位置から高速診断するシステム（特許出願中）の開発を進め、作業の高度化と効率化を実現している。



超高精細画像を用いた点検システム

### 新システム構築による短納期の実現で、他社との差別化を達成

同社では、高品質かつ短納期でのサービス提供を念頭においており、効率化に向けた様々な取組を実施している。一例として、これまで、30日程度の工期を必要としたコンクリート構造物の橋梁点検の場合、遠方からコンクリート壁面点検が可能な超精細画像撮影カメラ（NEXCO西日本製）を導入し、足場の設置や点検車の準備を不要とすることで、検査にかかる日数を10日程度に短縮させた。それにより、従業員の作業時間短縮やコスト削減がなされ、他社との差別化を達成している。



コンクリート構造物の橋梁の検査

### 従業員の資格取得を奨励し、技術力を底上げ

同社は、従業員の技術力向上のため、資格取得にかかる費用を全額負担し、資格取得時にはお祝い金を支給する等、全社的なサポートを行なっている。その結果、様々な専門資格を持った従業員が多数在籍しており、種々の条件調査や設計ニーズに対して、高度な技術力をもって対応することが可能となっている。技術力の裏づけとして、2017~2019年には3年間連続して、北海道開発局及び北海道より優良工事等表彰を授与している。



北海道開発局優良工事等表彰状